

相談援助	2年 前期	演習1単位	担当教員名	小玉 幸助
	卒選 幼選 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 社会福祉に関わる相談援助の基本的な進め方と援助技術の習得を目的とする。 ② 目 標 <ul style="list-style-type: none"> ・対人援助職であることを理解し、面接技法・ジェノグラムなどの技術を習得すること ・基本的なコミュニケーション能力を身につけ、相談援助の進め方を理解すること。 ・事例・演習を通して知識・技術を習得するとともに、保育者としての専門性を磨くこと。 				
授業の概要 人間は生きていくうえで、様々な生活困難な問題が生じる。この問題は個人で解決できないことも多々ある。その問題を解決し、その人を支える専門的な技術が、社会福祉援助技術である。保育者として必要な社会福祉の理念・思想・知識を踏まえたうえで、社会福祉援助技術の原則・原理を学び、個別援助、集団援助の技術を習得する。また、事例に基づいた演習を実施し、問題解決できるよう、そのスキルを獲得することを目的とする。				

授業計画

コマ(回)	項 目	内 容
1	社会福祉援助とは何か①	・ソーシャルワークとは何か ・人間の尊厳について ・社会福祉の理念について・教育と福祉について
2	社会福祉援助とは何か②	・ソーシャルワークの目的と定義 ・ソーシャルワークの基本構造 ・ソーシャルワークの対象について ・パールマンの4つのPと6つのPについて
3	社会福祉援助とは何か③	・援助者の基本態度 ・ソーシャルワークの体系について ・社会福祉援助技術の原理と原則 ・集団援助技術について
4	援助技術の活動場面	・ソーシャルワークの活動場面 ・社会福祉専門職について ・社会福祉援助技術の方法について・社会診断とジェノグラム・エコマップ
5	子どもと家族について①	・現代社会の地域と家庭の状況 ・家庭に対する保育者の役割 ・家族支援について ・育児不安について
6	子どもと家族について②	・事例検討（ジェノグラム・エコマップの演習：ロールプレイ） ・育児不安について（演習：ロールプレイ）
7	相談援助事例演習Ⅰ	・基本的態度とコミュニケーション ・相談援助のプロセス ・個別援助技術の
8	相談援助事例演習Ⅱ	・個別援助技術の技法・インテークについて(技法の流れ) ・セッティングについて
9	相談援助事例演習Ⅲ	・集団援助技術について ・集団援助技術の意義(保育における集団援助技術)
10	相談援助事例演習Ⅳ	・間接援助技術について・マイクロ・カウンセリングについて
11	相談援助事例演習Ⅴ	・インテークおよびマイクロ・カウンセリング演習(ロールプレイ)
12	子ども・家族と地域	・地域援助技術について ・関係機関の役割 ・地域で家族を援助する条件について
13	関連援助技術	・保育と地域援助技術の関連について・関連援助技術について(心理社会的療法) ・事例検討（演習：ブレイン・ストーミング技法）
14	相談援助事例演習Ⅵ	・子どもの相談援助（演習：ロールプレイ） ・保護者への相談援助（演習：グループディスカッション）
15	相談援助事例演習Ⅶ	・虐待対応および問題行動に対する保育ソーシャルワーク演習
定期試験	なし	
テキスト	高井由起子編著『子どもと家族をアシストする相談援助』教育情報出版社, 2017.	
参考図書	随時紹介する。	
教員の評価方法	演習態度・発表（20%）、レポート①（20%）、最終レポート（60%）	
準備学習等履修上の留意点	保育相談支援の援助技術と社会福祉の知識について予習および復習をしておくこと	